

特別展「お菓子のむかしばなし展」 関連シンポジウム

古代の菓子を考える

参加無料

令和6年

10月19日[土]

13時30分～17時00分
(13時開場/13時30分開演)

大陸との交流がさかんだった古代には幾度もの人とモノの往来があり、菓子が招来されました。

日本古代に菓子は「くだもの」「このみ」と呼ばれましたが、なかには果実や根菜などを含み、古代の甘味料である甘葛煎あまづらせんも菓子と称されました。これに加えて、大陸からきた加工菓子(餅類)も存在していました。

このシンポジウムでは、こうした古代における菓子について、史資料を読み込みながら検討し、それぞれの専門研究の立場からその実態に迫ります。

会場

北九州市立自然史・歴史博物館
1階ガイド館(八幡東区東田2丁目4番1号)

定員

200名(当日先着順受付)

特別展

お菓子のむかしばなし展

あまい!うまい!うつくしい!スイーツヒストリー

会期 10月12日[土]～12月8日[日]

会場 北九州市立自然史・歴史博物館



基調講演

13:30～14:20

「古代の美味しいお菓子と食文化」

講師

奈良女子大学大和・紀伊半島学研究所
協力研究員

前川 佳代 氏



関連報告

14:20～15:50

○ 報告1 「古墳出土の餅状土製品について」

宮元 香織 氏 (北九州市立自然史・歴史博物館)

○ 報告2 「奈良時代の儀式で使われたお菓子」

穴戸 香美 氏 (奈良女子大学大和・紀伊半島学研究所協力研究員)

○ 報告3 「清浄歓喜団-「美物」のお供え物-」

森由 紀恵 氏 (奈良女子大学大和・紀伊半島学研究所協力研究員)

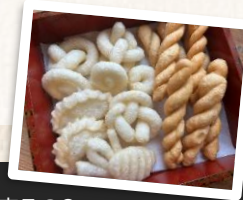
○ 報告4 「菓子と器-福岡と奈良をつなぐ土器-」

土居 規美 氏 (奈良文化財研究所アソシエイトフェロー)

討論

16:00～16:50

「古代の菓子を考える」



※菓子の写真はすべて前川佳代氏作成、写真提供

主催：科学研究費補助金基盤研究(C)「日本古代の飲食・供膳様式の解明と菓子再現活用の研究—東アジアの食膳研究その2」
(課題番号:22K02159、研究代表者:前川佳代)

共催：「お菓子のむかしばなし展」実行委員会(北九州市立いのちのたび博物館、東田ミュージアムパーク実行委員会、毎日新聞社)、
北九州市立自然史・歴史博物館歴史友の会、奈良女子大学大和・紀伊半島学研究所古代学・聖地学研究センター

お問い合わせ先

北九州市立自然史・歴史博物館/TEL 093-681-1011